

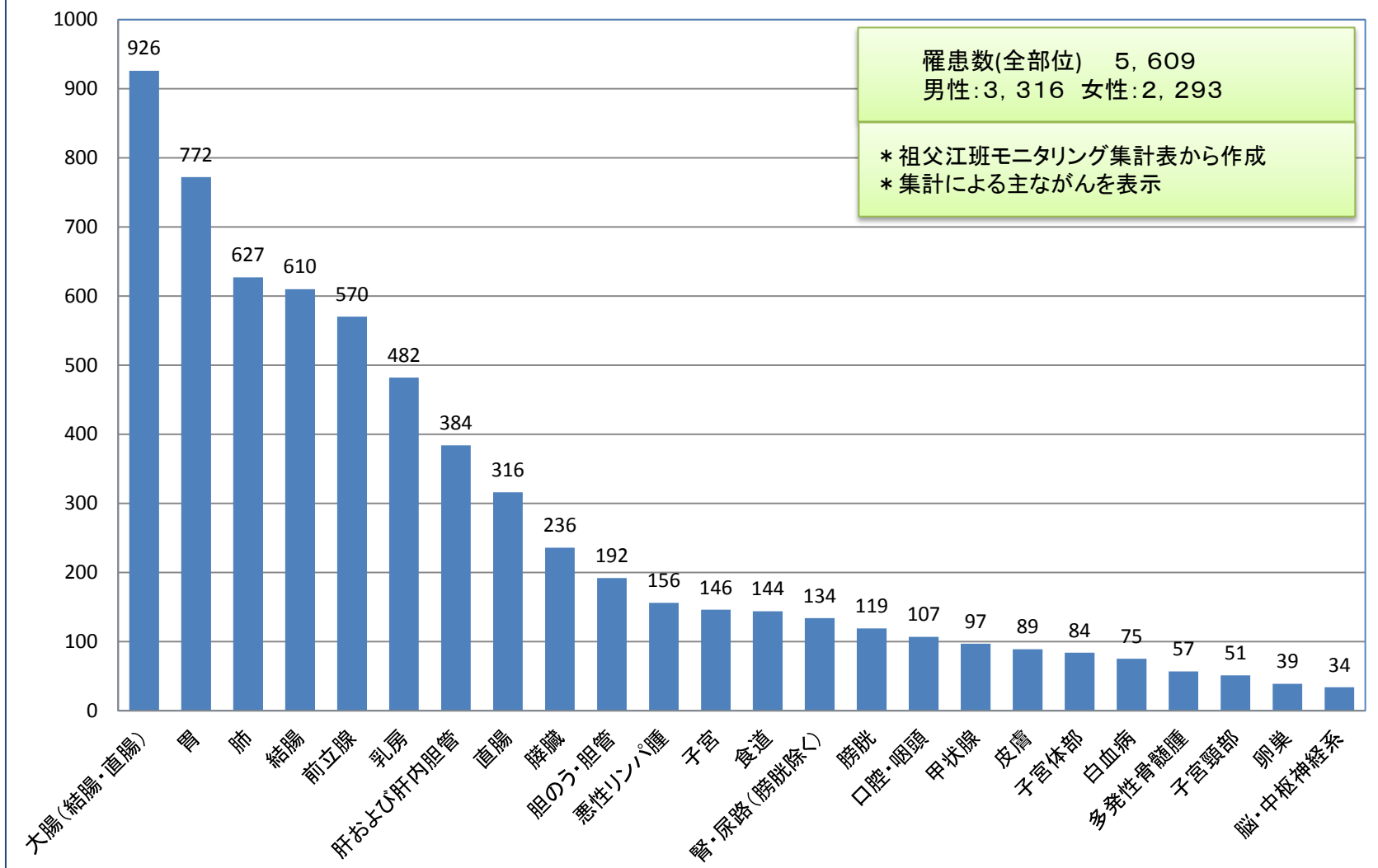
2012年 山梨県がん罹患 集計結果

(確定値)

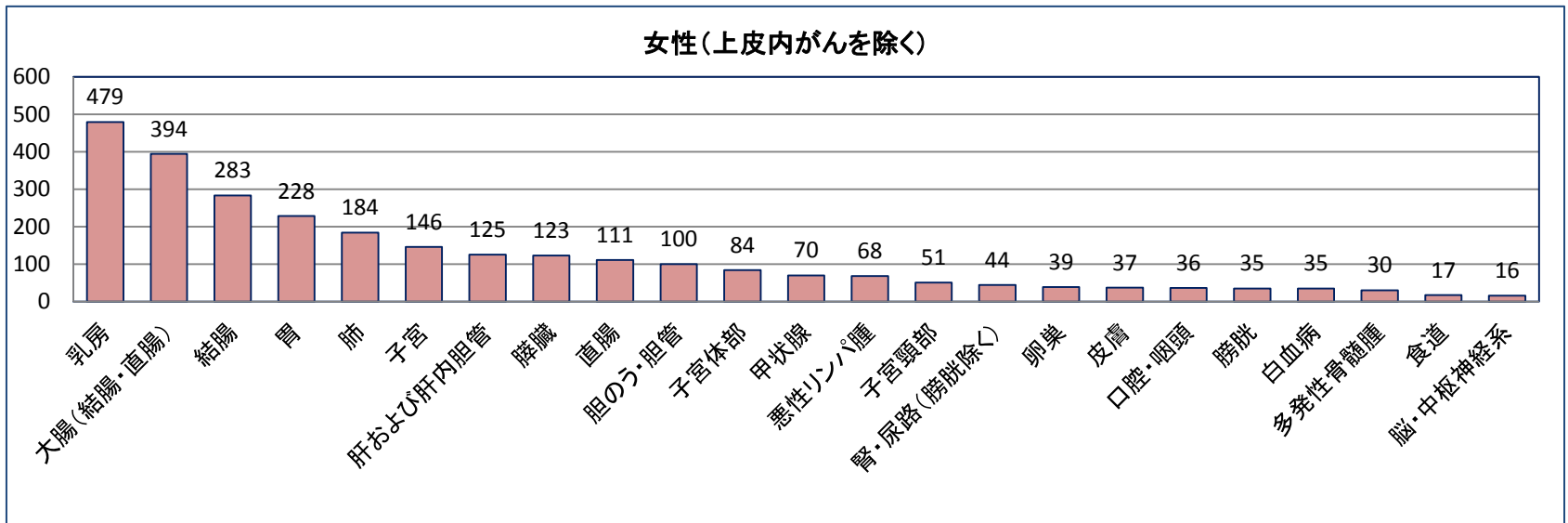
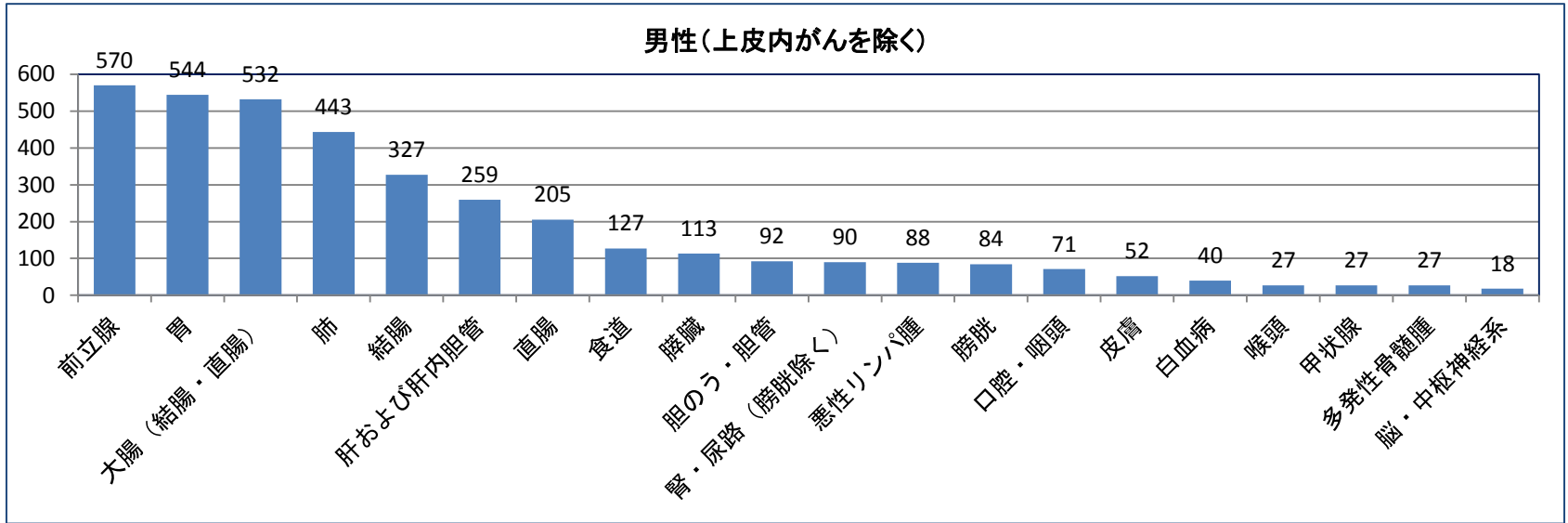
2015年9月集計

A 2012年山梨県がん罹患数(全体)(件)

(上皮内がんを除く)

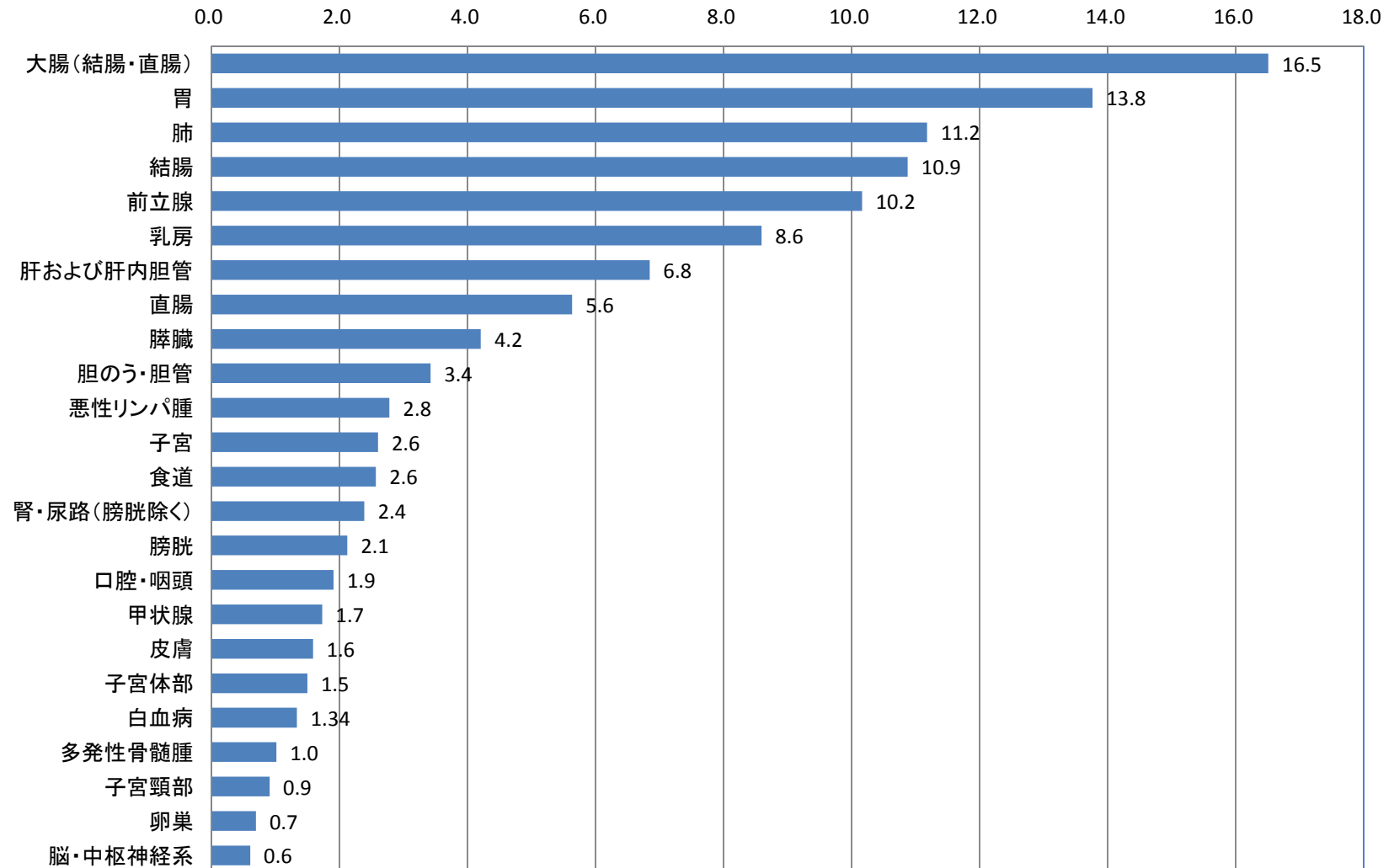


B 男女別・部位別罹患数(件)

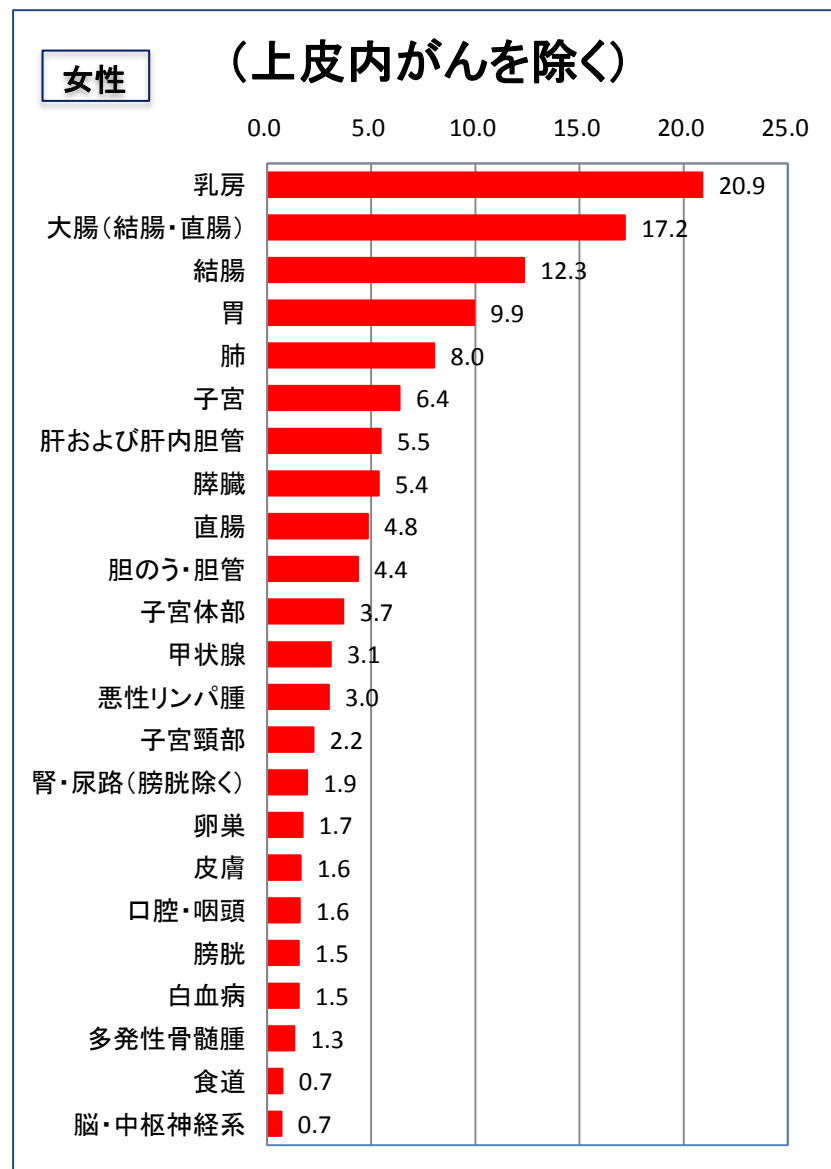
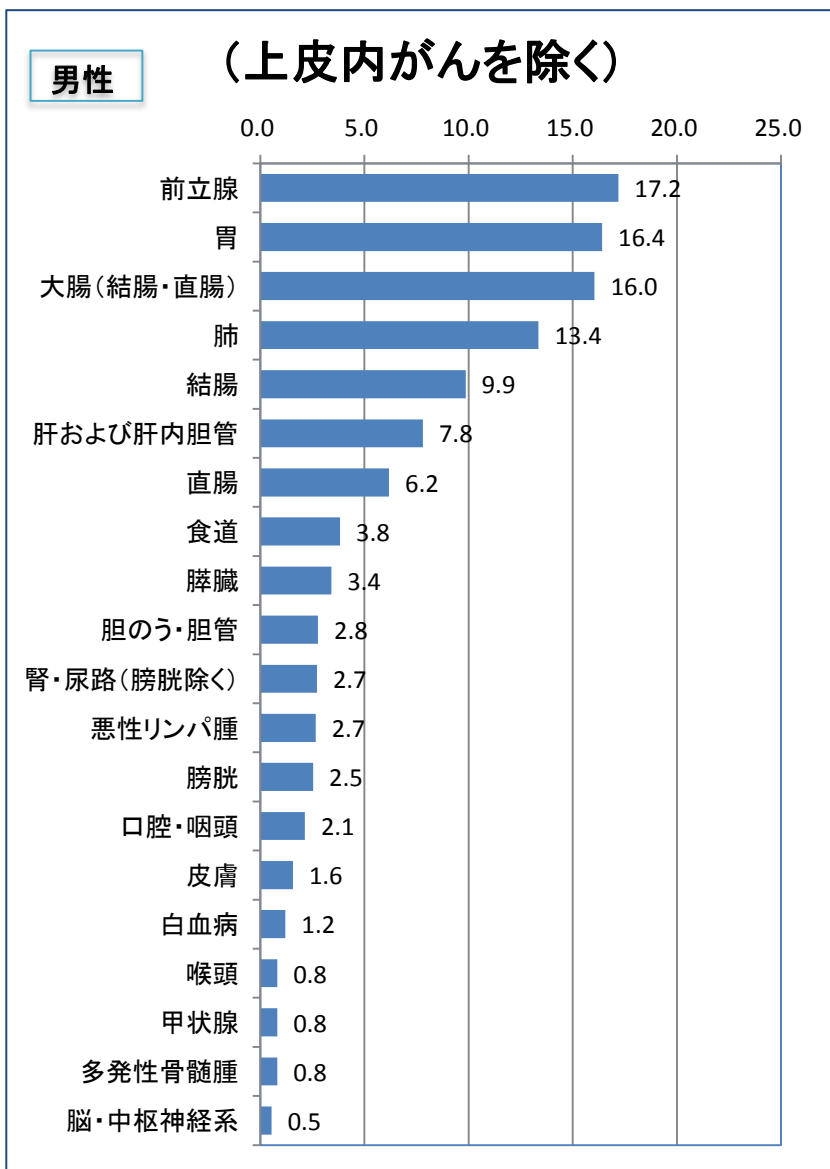


C-1 罹患割合(%)・全体

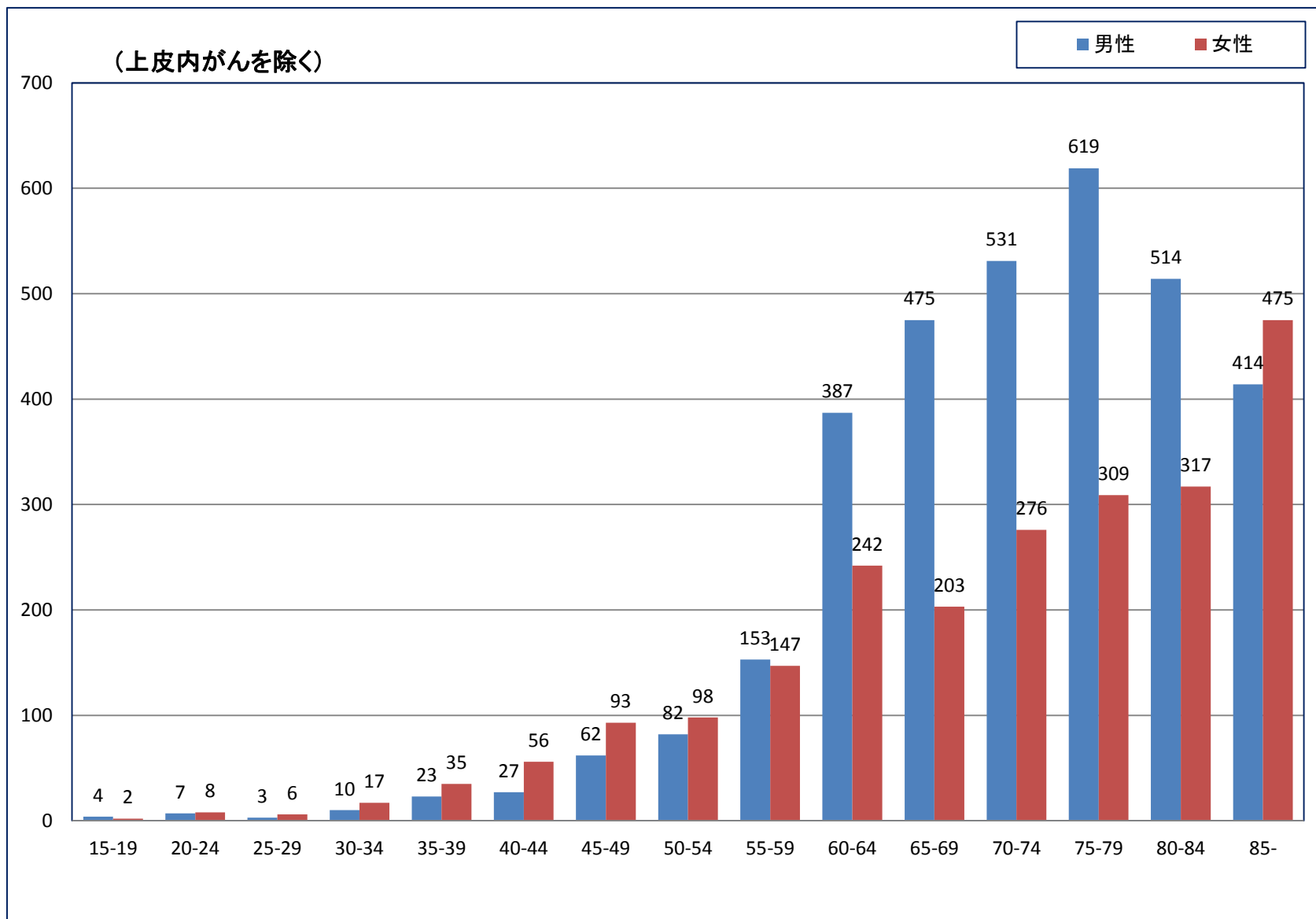
(上皮内がんを除く)



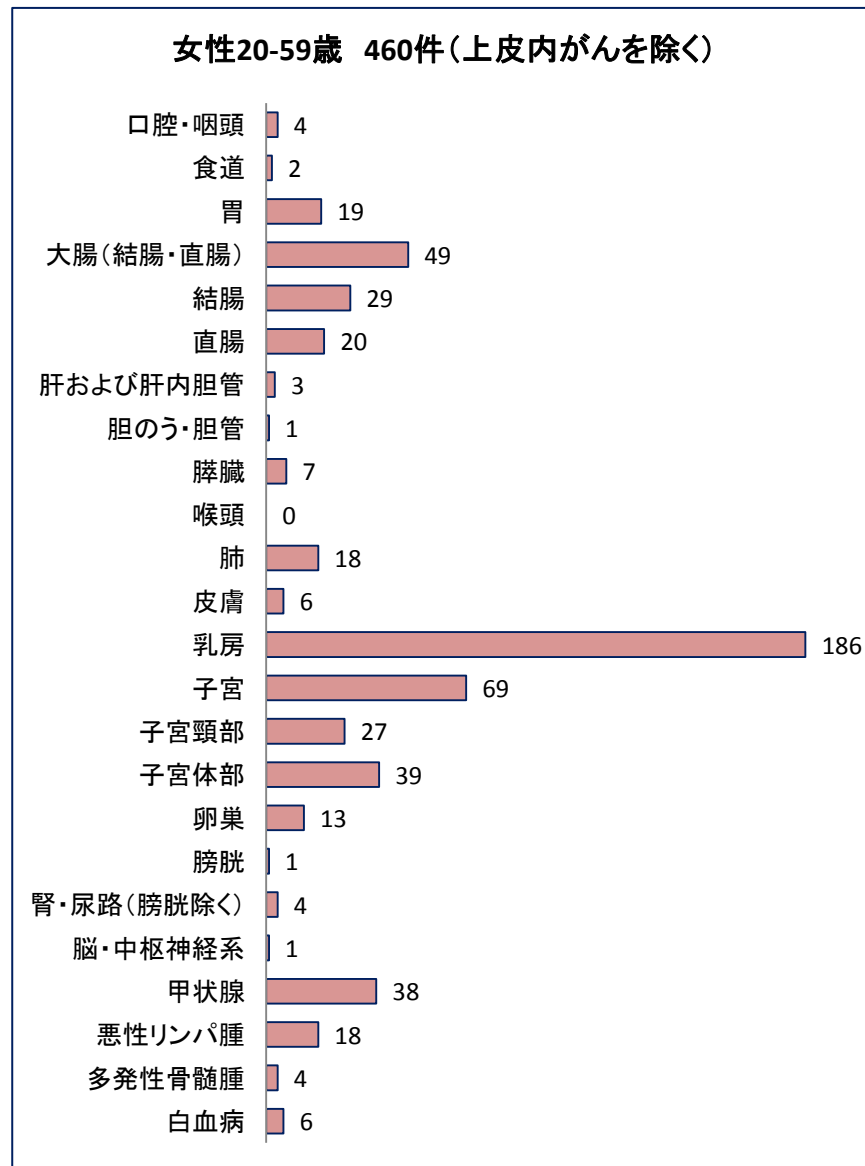
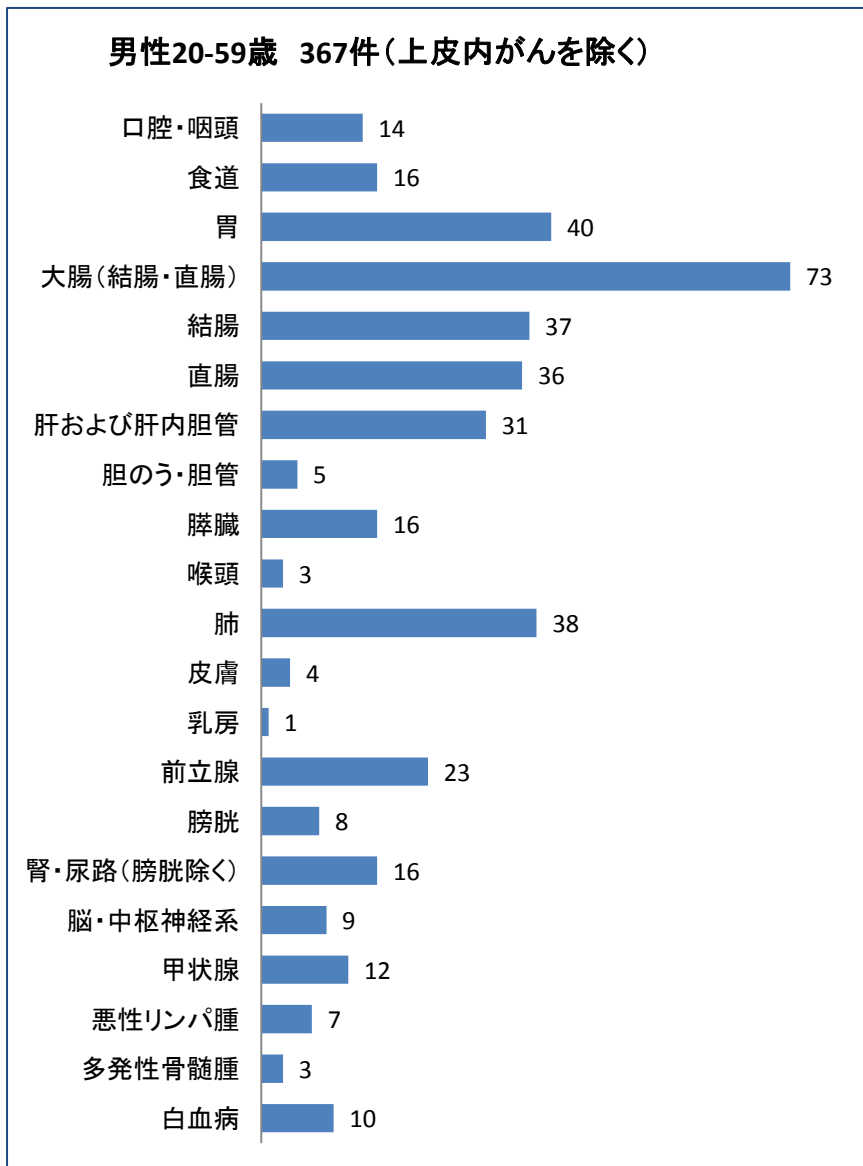
C-2 罹患割合・男女別(%)



D-1 年齢階級別・男女別罹患数(件)

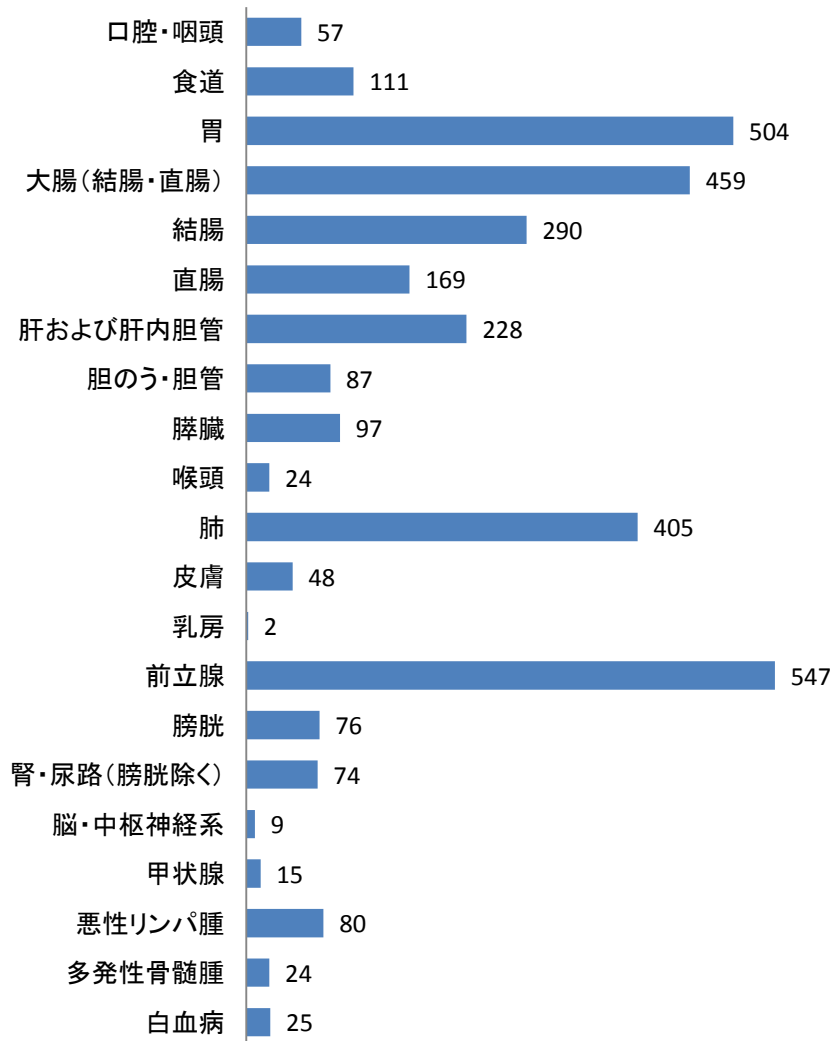


D-2 年齢別・部位別罹患数／20歳～59歳(件)

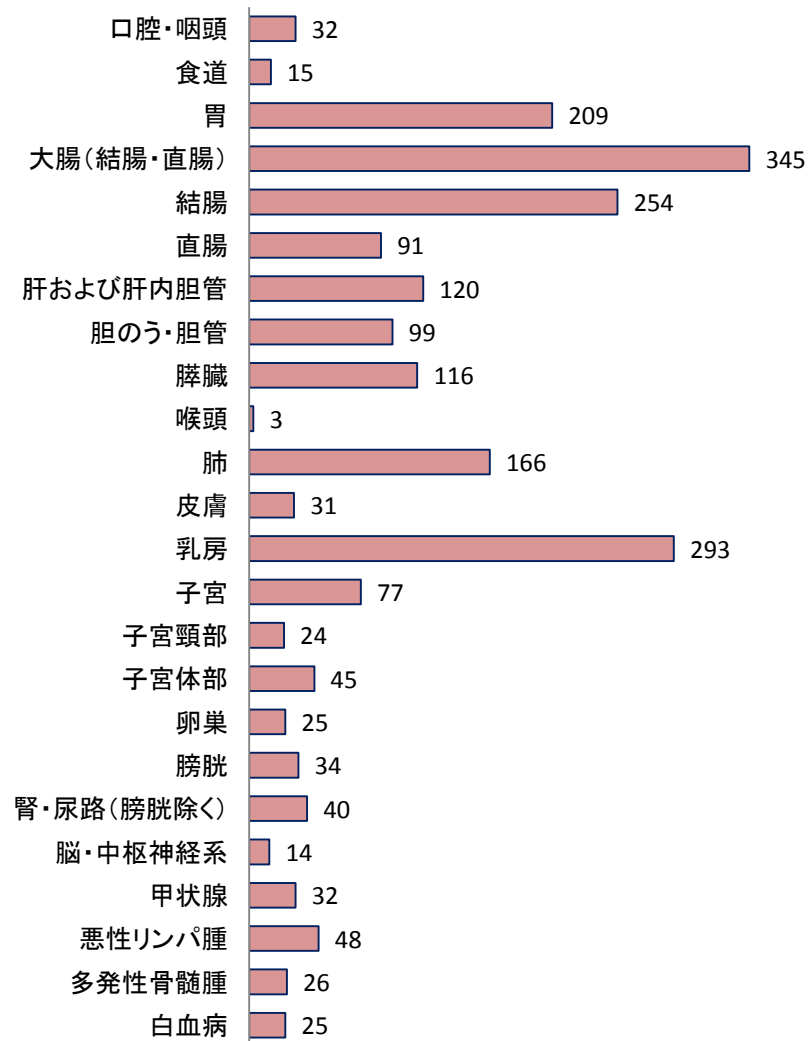


D-3 年齢別・部位別罹患数／60歳以上(件)

男性60歳- 2940件(上皮内がんを除く)

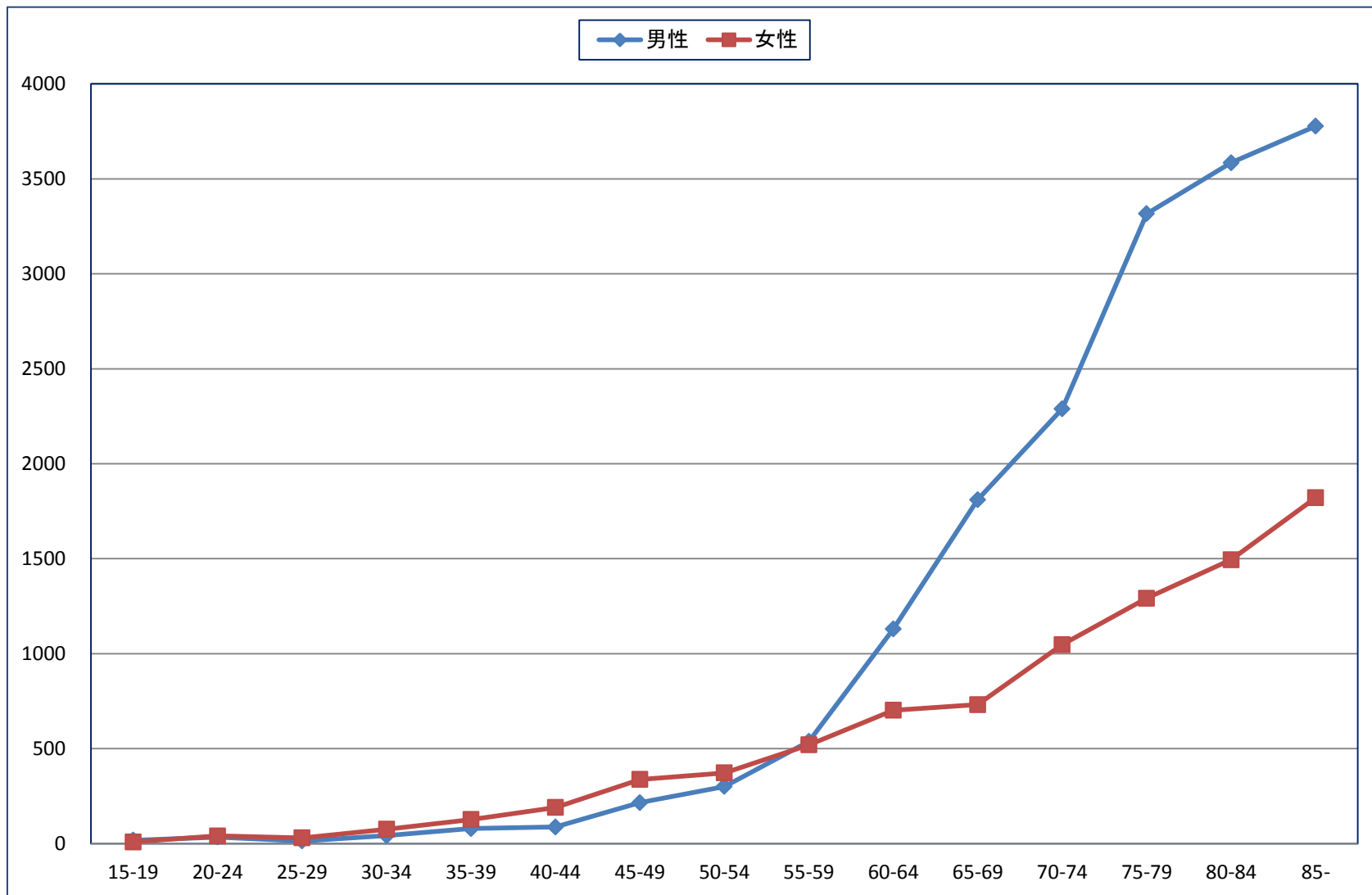


女性60歳- 1822件(上皮内がんを除く)

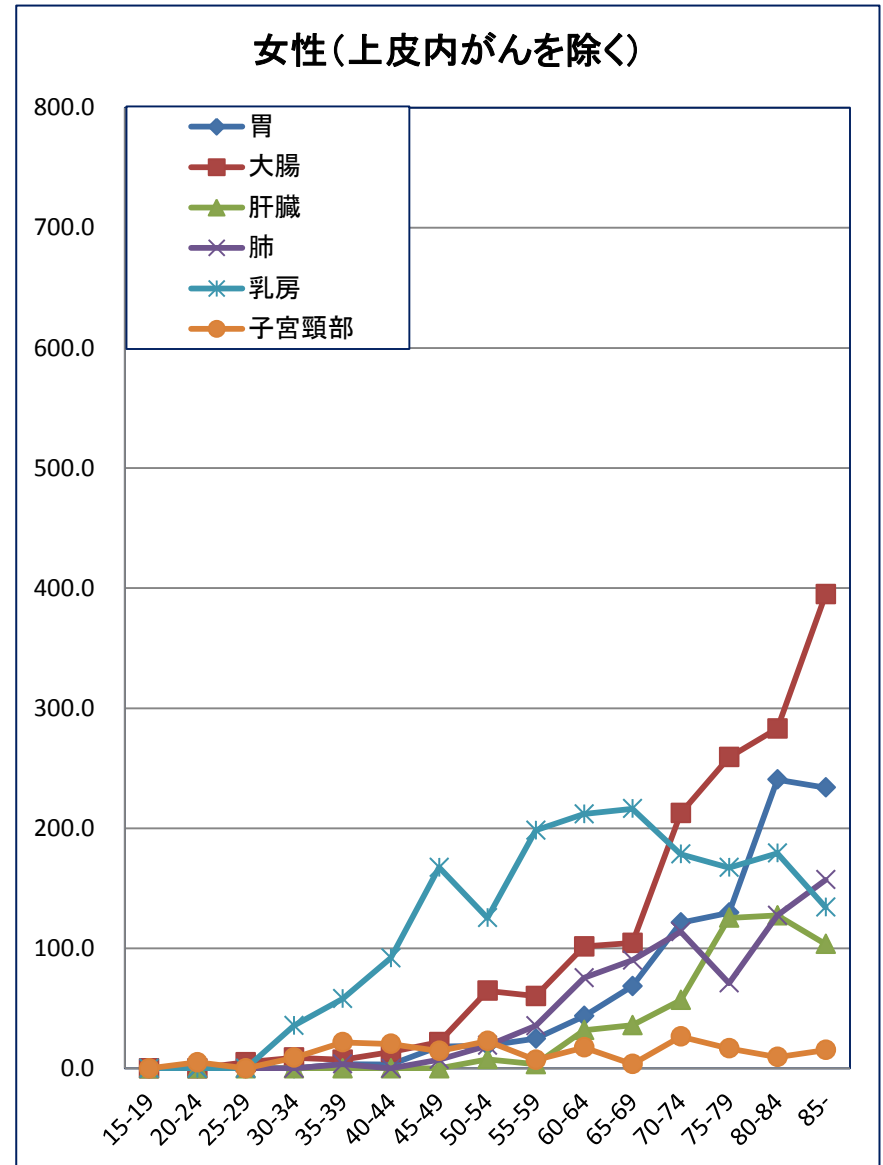
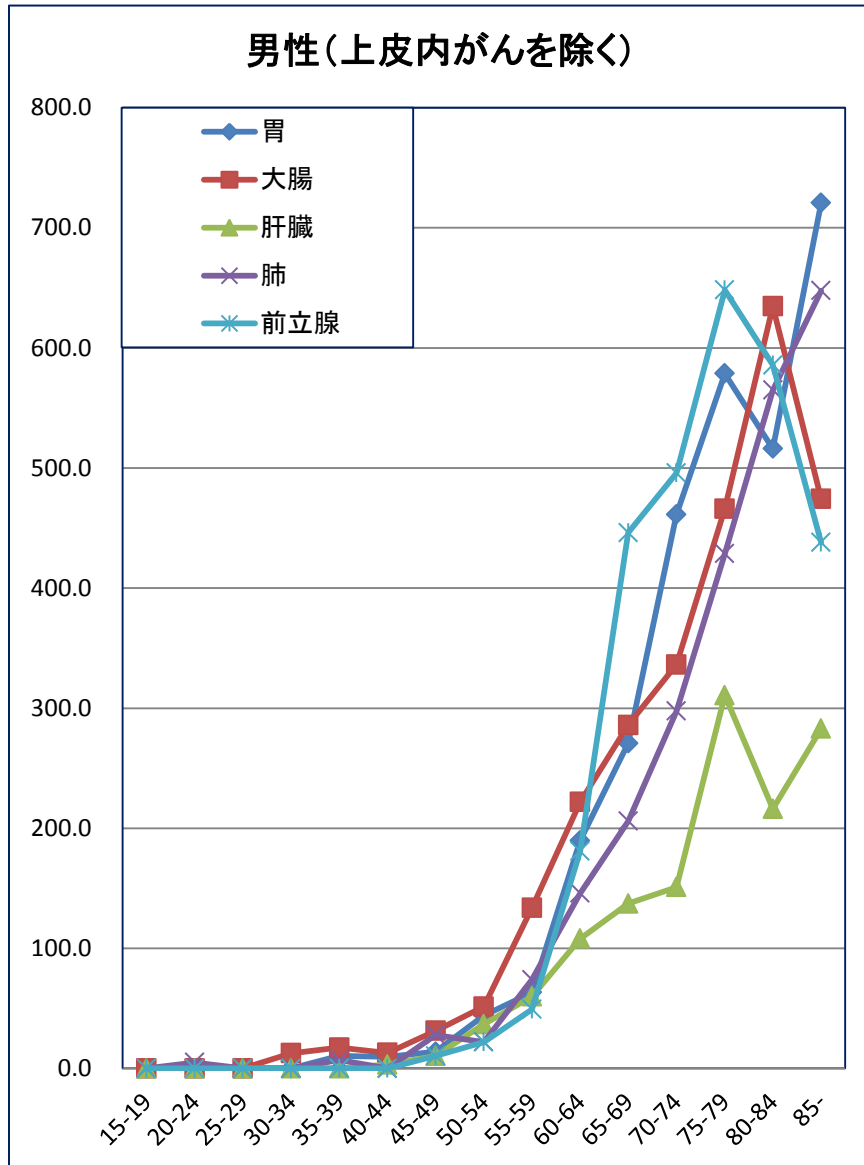


E-1 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

全部位(上皮内がんを除く)

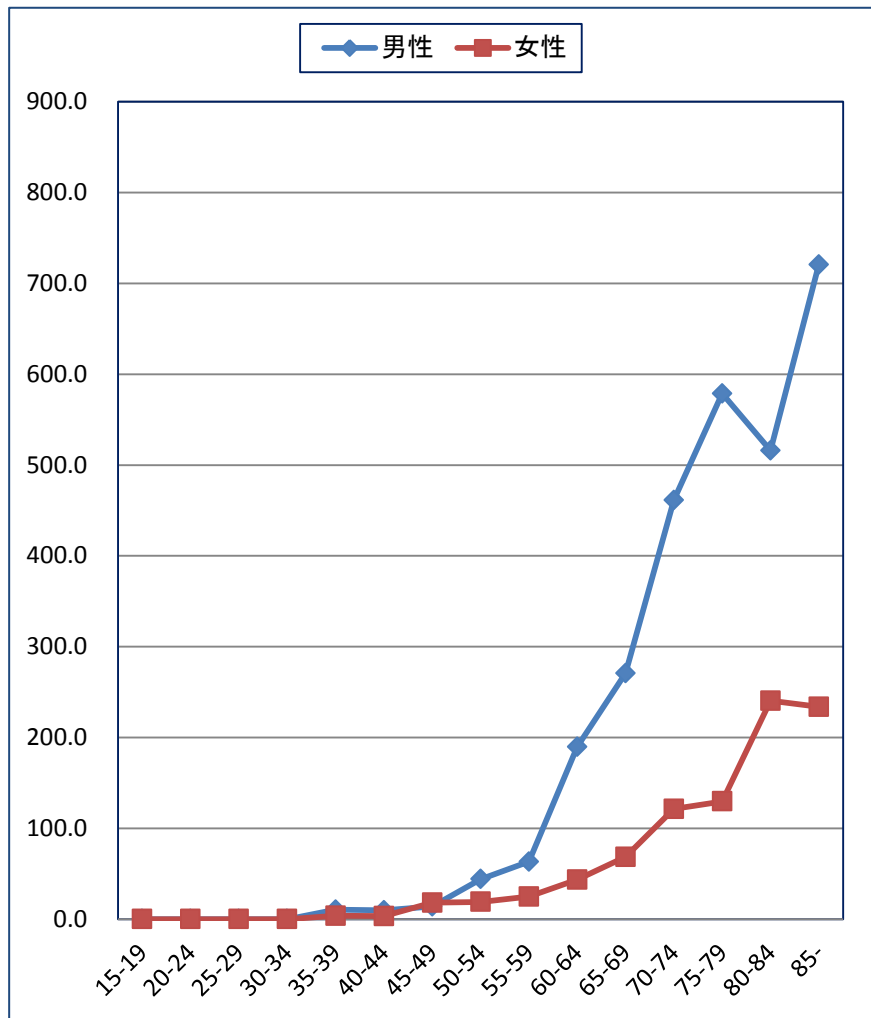


E-2 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

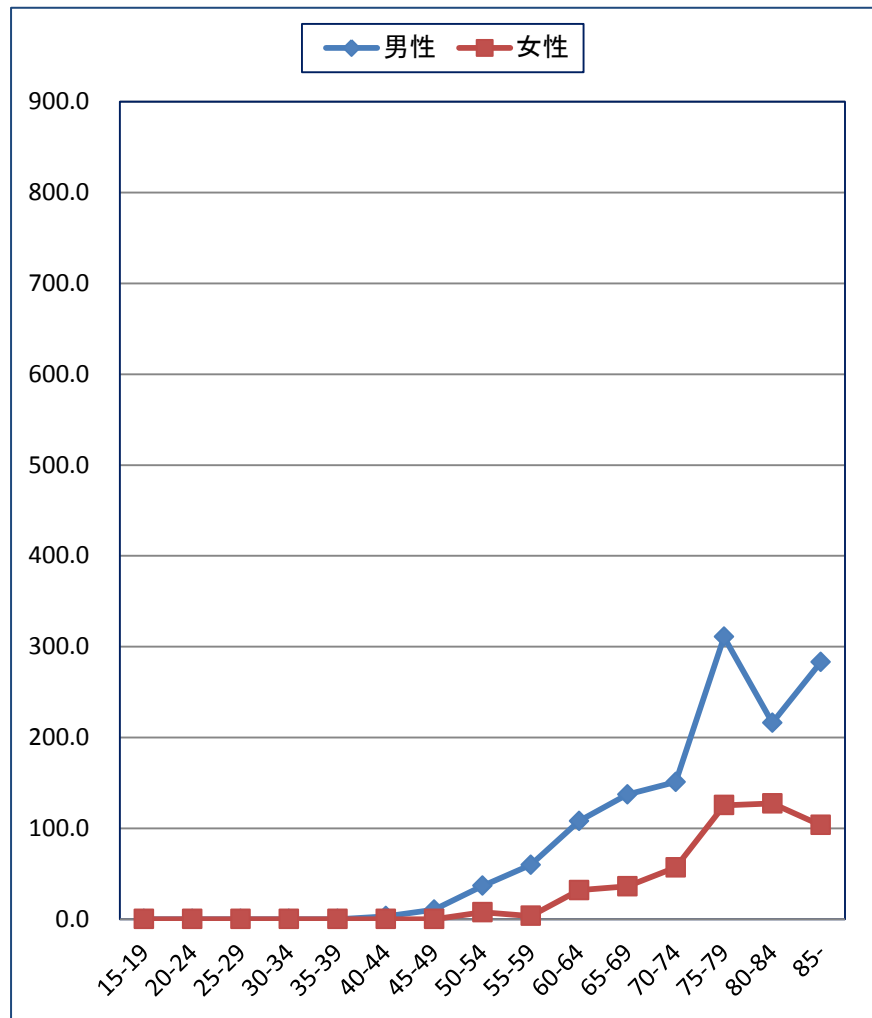


E-3 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

胃がん(上皮内がんを除く)

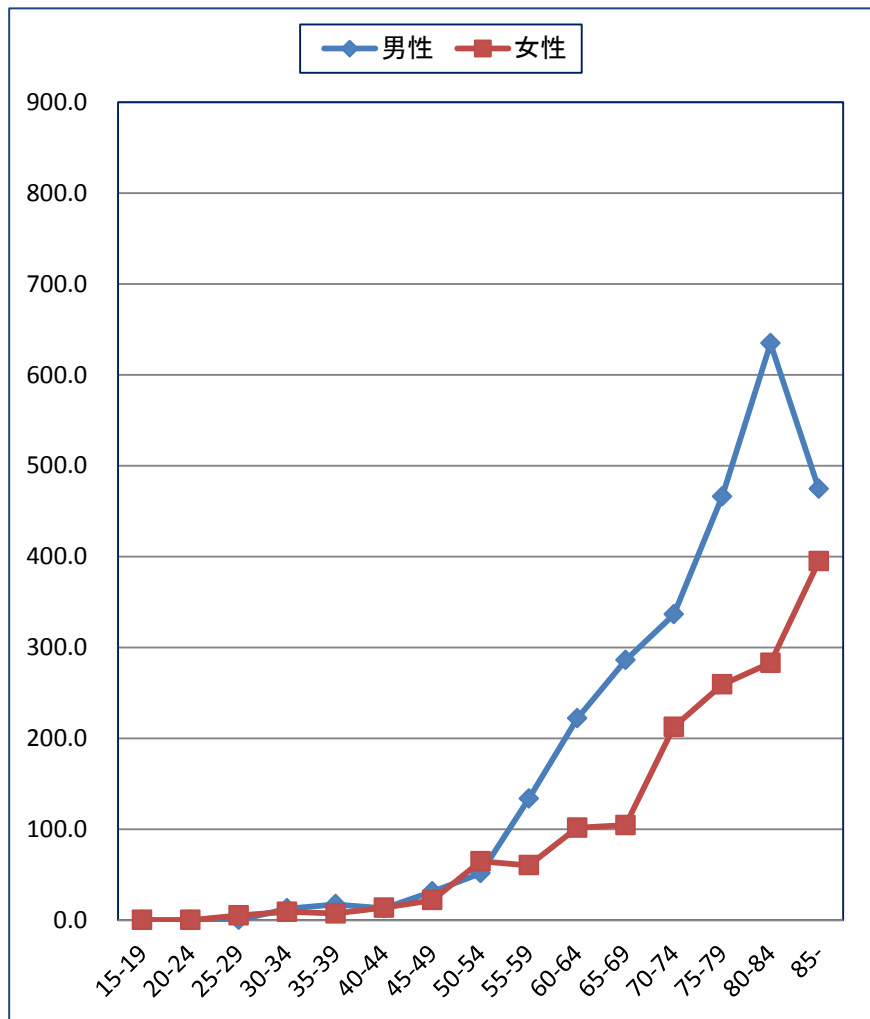


肝がん(上皮内がんを除く)

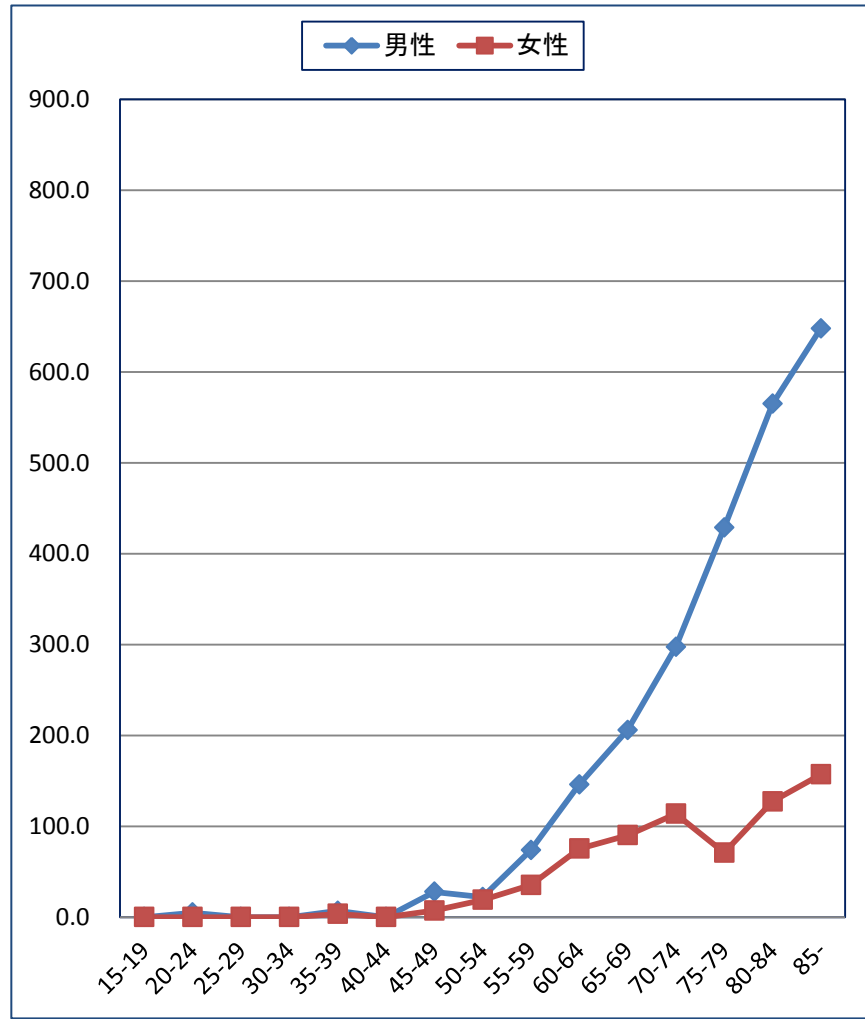


E-4 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

大腸がん(上皮内がんを除く)

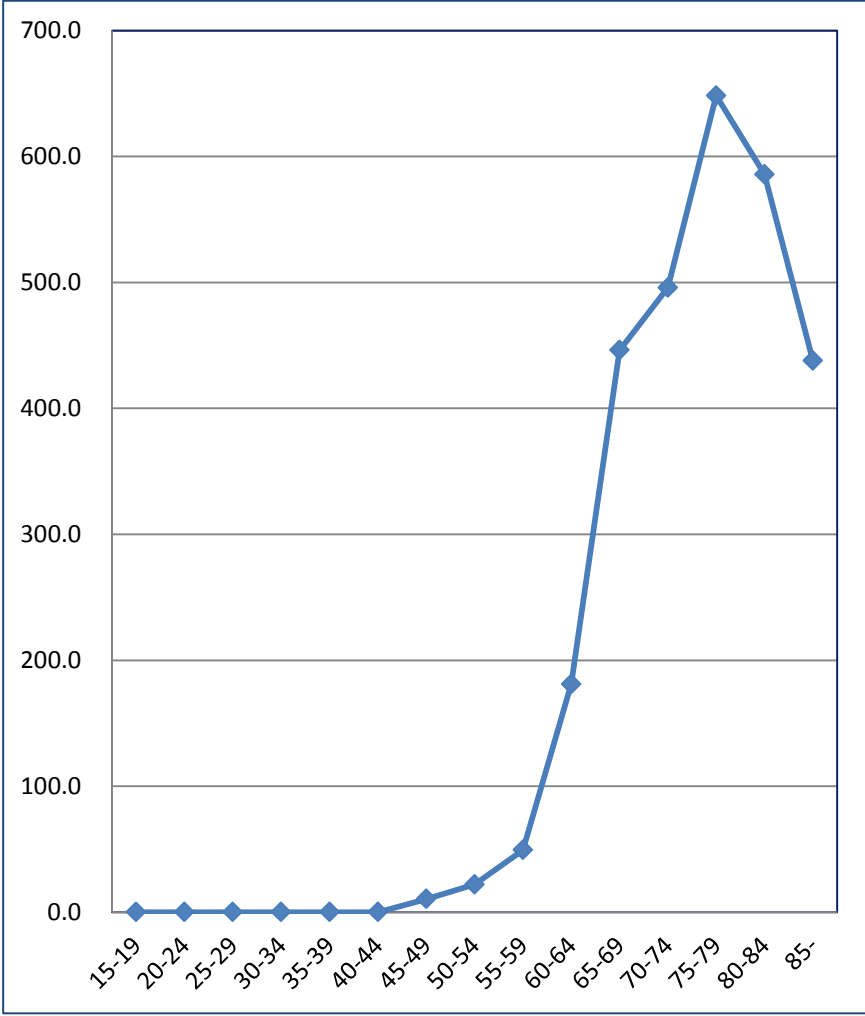


肺がん(上皮内がんを除く)

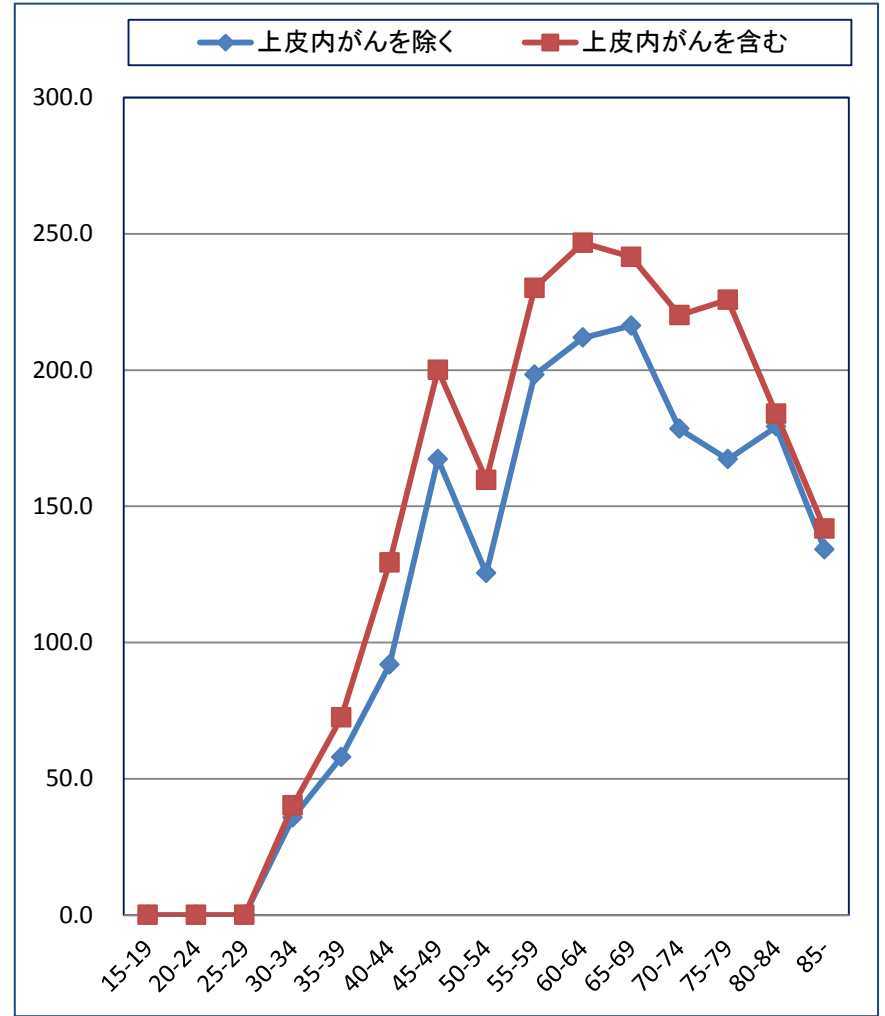


E-5 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

前立腺がん(上皮内がんを除く)

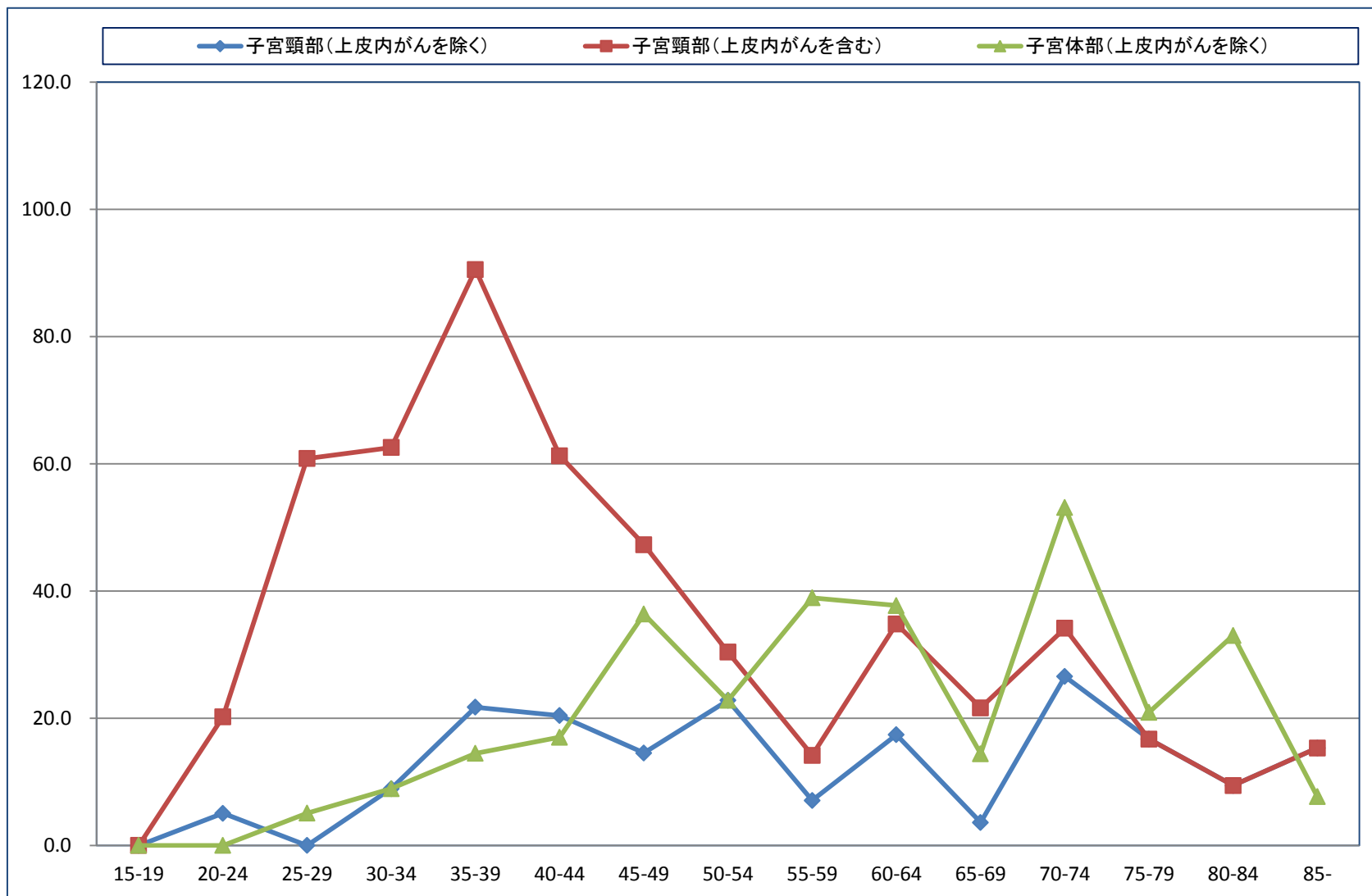


乳がん(女性)

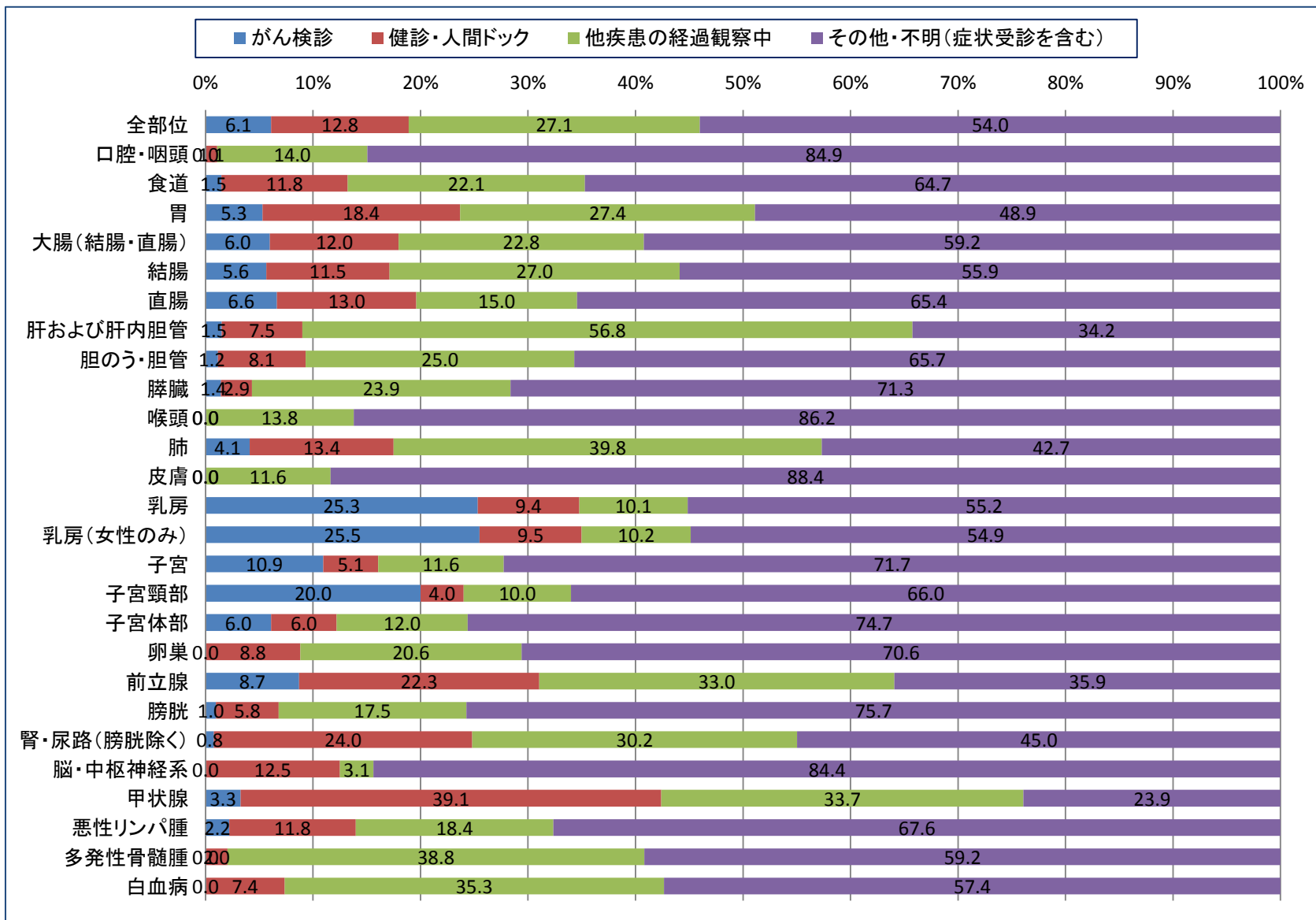


E-6 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

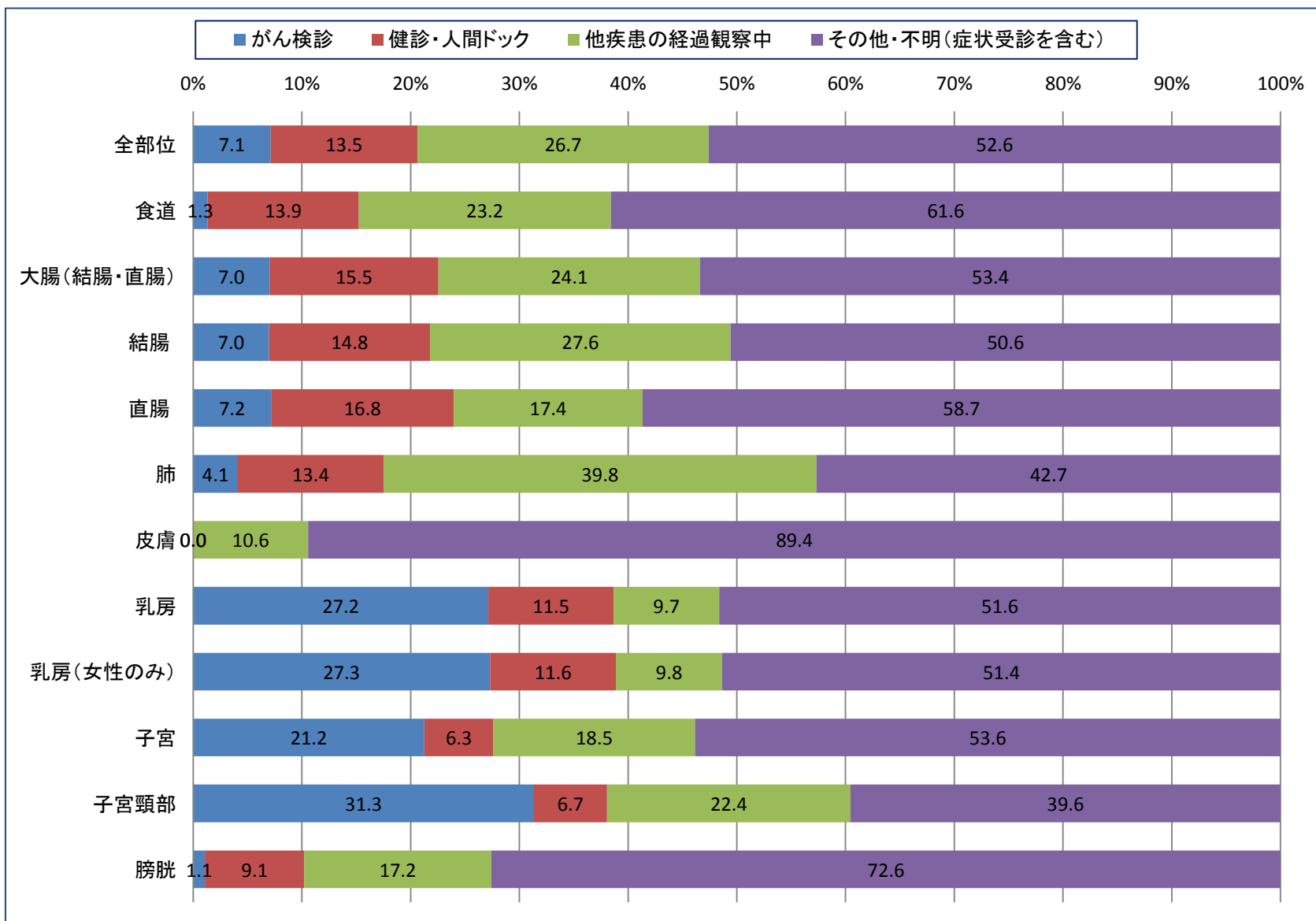
子宮(子宮頸部・子宮体部)がん



F-1 発見経緯(上皮内がんを除く)(%)

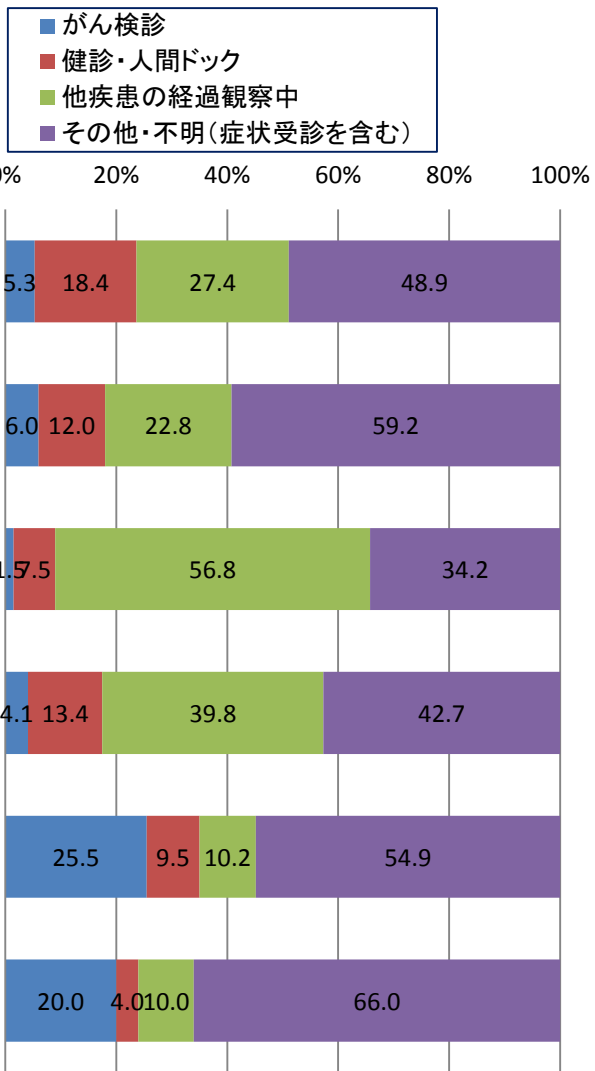


F-2 発見経緯(上皮内がんを含む)(%)

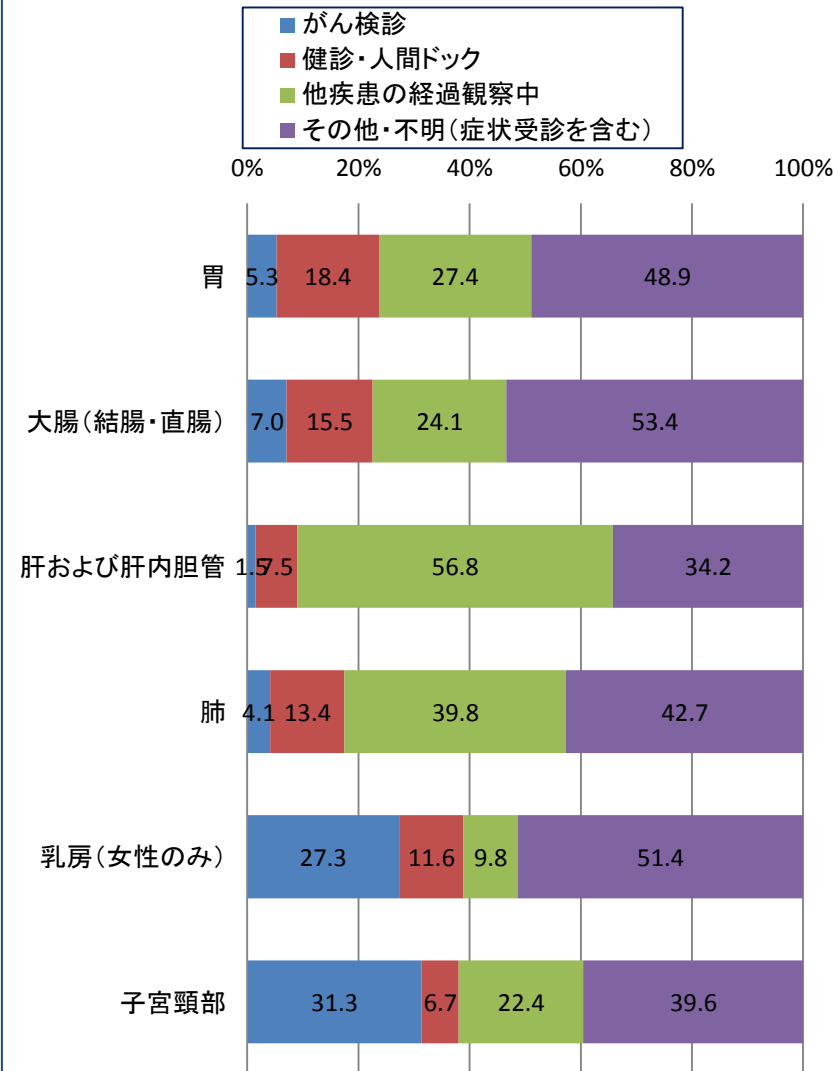


F-3 発見経緯(5大がん+肝がん)(%)

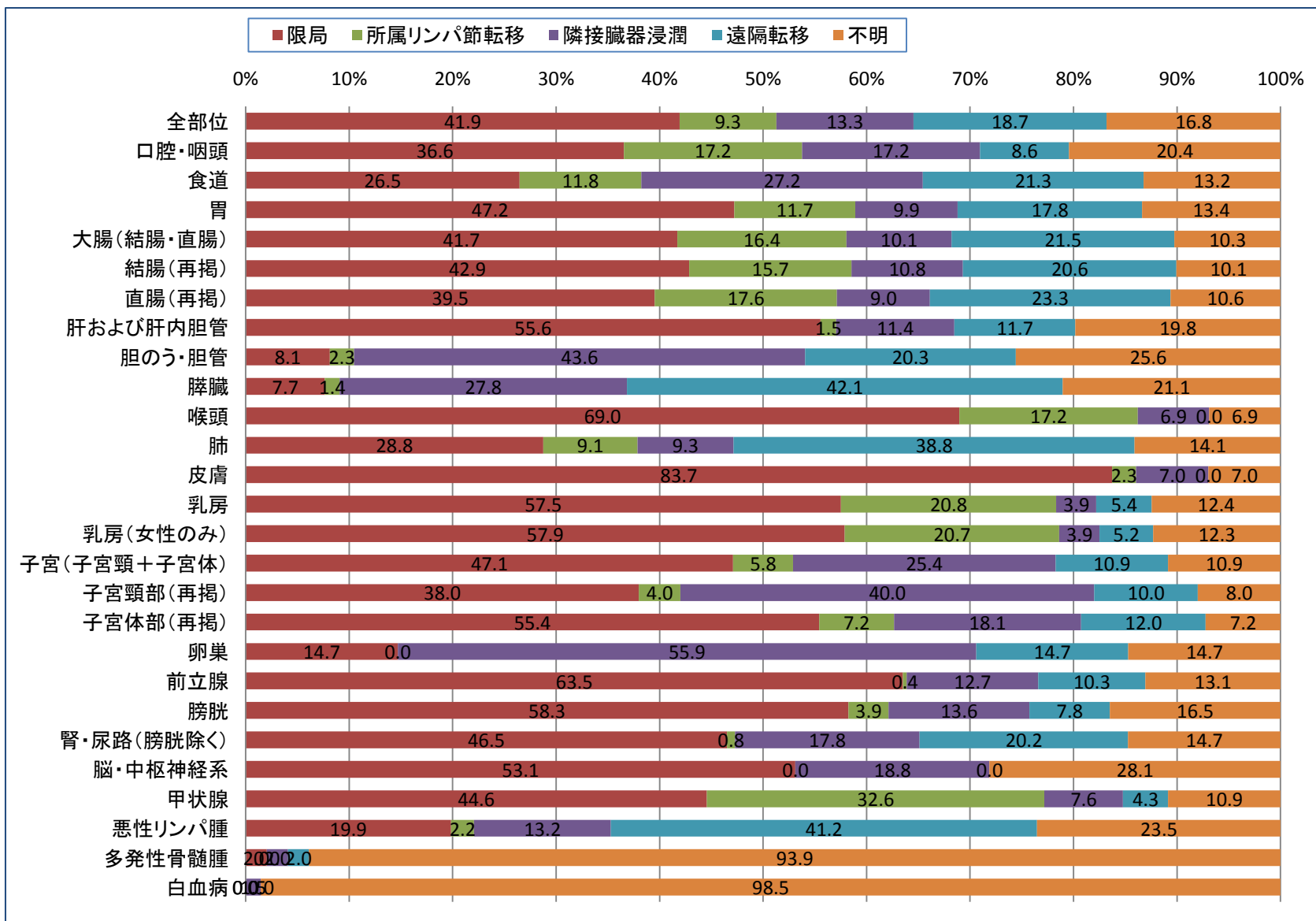
(上皮内がんを除く)



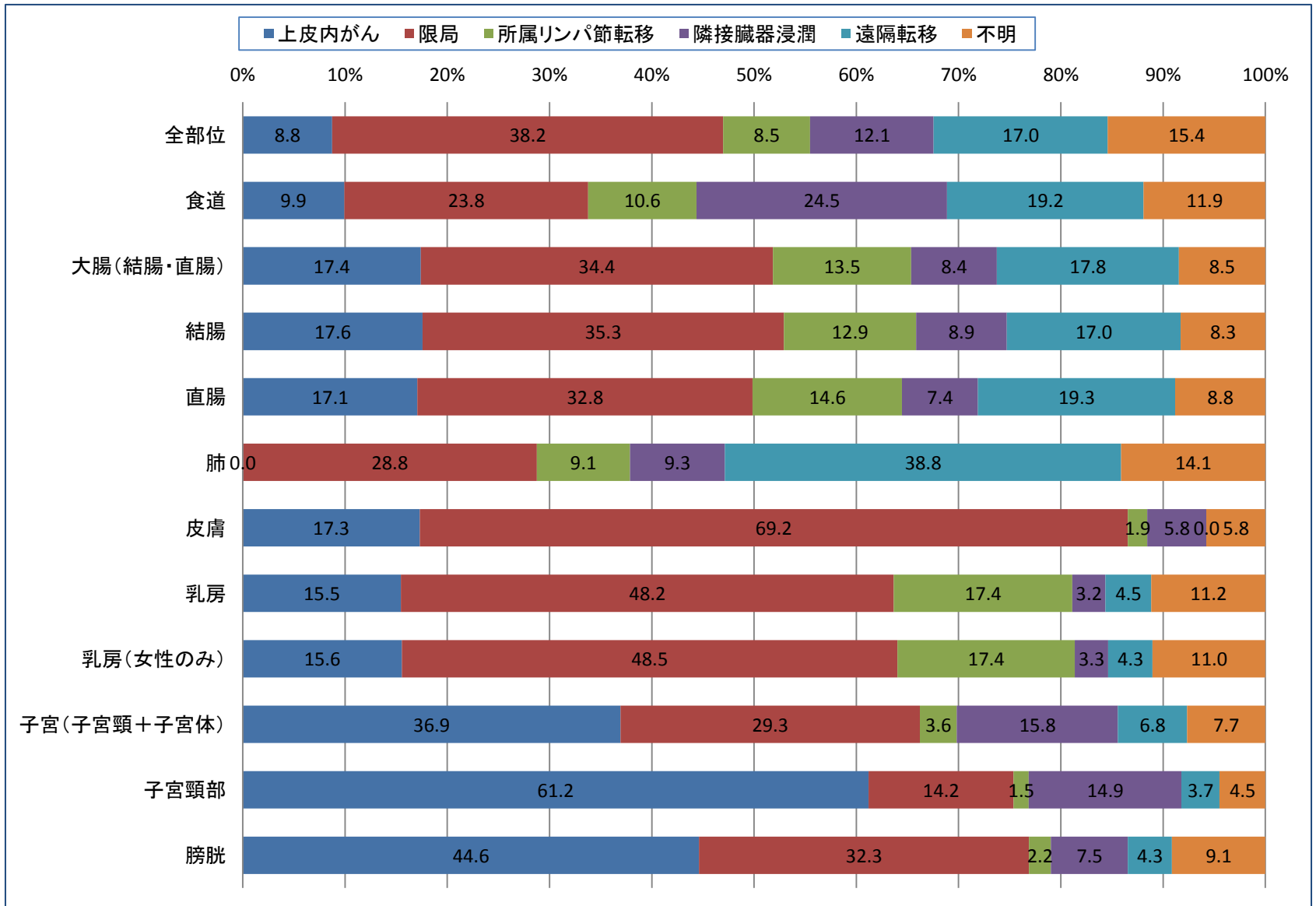
(上皮内がんを含む)



G-1 臨床進行度(上皮内がんを除く)(%)



G-2 臨床進行度(上皮内がんを含む)(%)



データの精度

山梨県のデータ精度はMCIJ推計値採用基準Aを満たしている。

	IM比		DCN		DCO	
	上皮内除く	上皮内含む	上皮内除く	上皮内含む	上皮内除く	上皮内含む
MCIJ掲載基準	1.5以上		30%未満		25%未満	
2008年	2.34	—	29.8	28.1	11.8	11.1
2009年	2.46	2.63	25.1	23.5	10.2	9.6
2010年	2.31	2.50	23.4	21.6	10.6	9.8
MCIJ(基準A) * 推計値採用基準	2.0以上		20%未満		10%未満	
2011年	2.23	2.41	21.0	19.4	8.4	7.7
2012年	2.20	2.40	19.6	18.0	7.7	7.1

- MCIJ: 全国がん罹患モニタリング集計
- IM比: 罹患数と死亡数の比
- DCN: death certificate notifications 死亡診断書で初めて把握されたがん症例
- DCO: death certificate only 死亡診断書以外の情報がない症例

まとめ

1. 罹患数

- 山梨県での2012年の1年間のがん罹患数は5,609件
男性:3,316件 女性:2,293件
- 2011年の罹患数と単純に比較すると、男性では34件減少、女性では83件減少し、全体で49件の減少がみられた。
- 2008年以降、罹患数は5,700件前後で推移している。

	2008年 (確定値)	2009年 (確定値)	2010年 (確定値)	2011年 (確定値)	2012年 (確定値)
全体	5,755	5,722	5,666	5,658	5,609
男性	3,366	3,348	3,339	3,282	3,316
女性	2,389	2,374	2,327	2,376	2,293

★注 :地域がん登録は1腫瘍1登録であり、多重がんもあるため「がん罹患人数」ではない

まとめ

2. 部位別罹患数・罹患割合

- 1位が「大腸（結腸＋直腸）」926件、2位が「胃」772件、3位が「肺」627件となっている。2011年と順位は変わらない。
- 2011年の罹患数と比べ増加したのは、57件増の「大腸」、27件増の「肺」、15件増の「多発性骨髄腫」であった。減少したのは、51件減の「悪性リンパ腫」、42件減の「肝および肝内胆管」・「胃」、30件減の「膵臓」、27件減「膀胱」であった。

	2008年		2009年		2010年		2011年		2012年	
	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)
1位	大腸	918 (16.0%)	胃	887 (15.5%)	大腸	834 (14.7%)	大腸	869 (15.4%)	大腸	926 (16.5%)
2位	胃	859 (14.9%)	大腸	864 (15.1%)	胃	827 (14.6%)	胃	814 (14.4%)	胃	772 (13.8%)
3位	肺	676 (11.7%)	肺	662 (11.6%)	肺	645 (11.4%)	肺	600 (10.6%)	肺	627 (11.2%)

まとめ

3. 男女別罹患数順位

○ 男性は、「前立腺」570件、「胃」544件、「大腸」532件、「肺」443件、「肝および肝内胆管」259件の順であった。

2011年の罹患数と単純に比較すると、増減が大きかったのは、40件増の「大腸」、33件増の「肺」、29件増の「前立腺」、41件減の「膵臓」、25件減の「肝および肝内胆管」、17件減の「膀胱」であった。

○ 女性は「乳房」479件、「大腸」394件、「胃」228件、「肺」184件の順であった。

2011年の罹患数と単純に比較すると、増減が大きかったのは、26件増の「乳房」、17件増の「大腸」、15件増の「胆のう・胆管」、48件減の「胃」、38件減の「悪性リンパ腫」、21件減の「卵巣」であった。

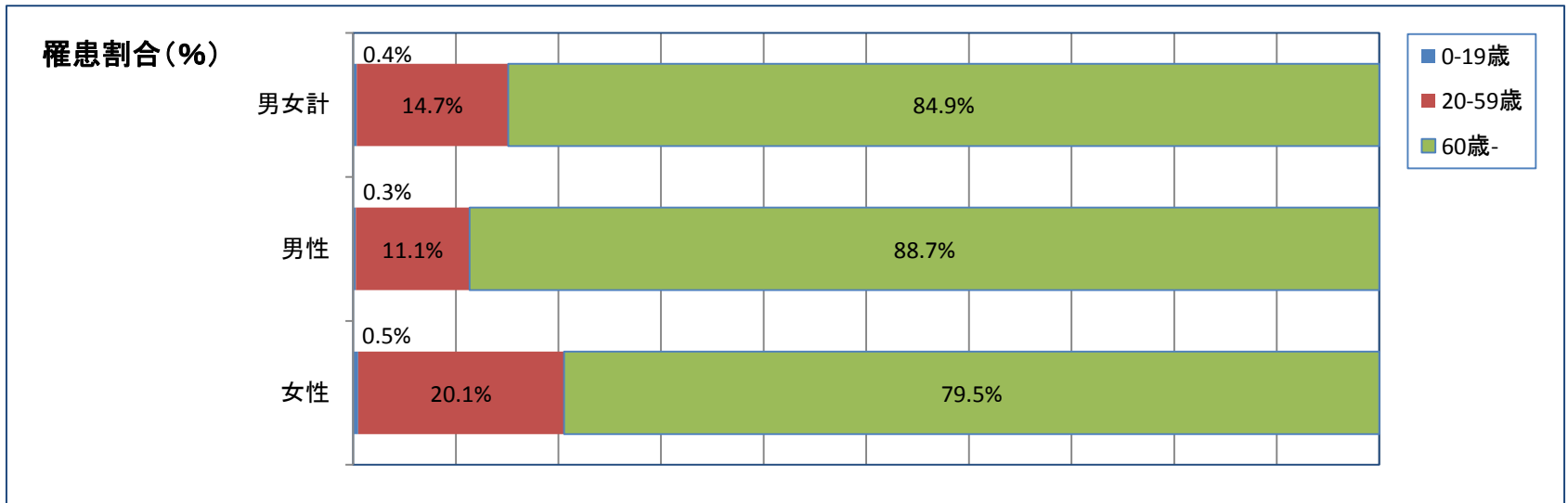
男性	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
1位	胃	胃	胃	前立腺	前立腺
2位	大腸	前立腺	前立腺	胃	胃
3位	肺	大腸	大腸	大腸	大腸

女性	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
1位	乳房	乳房	乳房	乳房	乳房
2位	大腸	大腸	大腸	大腸	大腸
3位	胃	胃	胃	胃	胃

まとめ

4. 年齢階級別・男女別罹患数、罹患割合

- 年齢別にみると、60歳以上が4,762件で全年齢の84.9%を占め、就労年齢の多い20-59歳は、827件(14.7%)となっている。
- 男性では、60歳以上が2,940件(88.7%)、20-59歳が、367件(11.1%)となっている。
- 女性では、60歳以上が1,822件(79.5%)、20-59歳が、460件(20.1%)となっている。



まとめ

5. 年齢階級別罹患率

- 男性は50歳代後半から罹患率が急激に上昇し、その後も加齢に伴い上昇している。
- 女性は、乳がん及び子宮頸がんの罹患が、20歳～30歳代から高くなることから、20歳～50歳代前半までは男性より罹患率が高い。
50歳代後半で男性の罹患率と交差し、その後は緩やかに増加する。
- 臓器別にみると、男性は40歳代から大腸がんが増加し、50歳代からの臓器も増加している。
女性では子宮頸がんが20歳代前半から急激に上昇し、30歳代後半でピークとなる。
また、乳がんは30歳代前半から急上昇し、60歳代前半まで女性のがんの1位である。
大腸がんが40歳代から増加しはじめ、加齢とともに上昇する。
子宮頸がんと乳がん、大腸がんは就労世代の罹患率が高い。

まとめ

6. 臓器別発見経緯

- 発見経緯は、全部位で「がん検診」6. 1%「健診・人間ドック」12. 8%「他疾患の経過観察中」27. 1%、「その他・不明(症状受診含む)」54. 0%であった。
- 「がん検診」と「健診・人間ドック」による発見を合わせると18. 9%が健診等で発見されたものであった。この比率は年々高くなっている。健診等で発見されたものを臓器別にみると、「甲状腺」42. 4%、「乳房」34. 7%、「前立腺」31. 0%、「腎・尿路」24. 8%、「子宮頸がん」24. 0%、「胃」23. 7%の順であった。
- 「上皮内がんを含む」発見経緯では、「乳房」が38. 7%、「子宮頸がん」が38. 0%で健診等での発見率が高い。